

各教育事務所の調査結果

宇城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
 - (1) 小学校の成果と課題
 - (2) 中学校の成果と課題
- 2 質問紙調査結果と分析
 - (1) 児童・生徒質問紙調査結果
 - (2) 学校質問紙調査
 - (3) 質問紙調査に関する分析
- 3 今後の取組の重点事項

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。【関連問題 A8ア・エ・オ】
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと。【関連問題 B3二】

算数 成果が見られた内容

- 1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができること。【関連問題 A1(2)】
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができること。【関連問題 B1(1)】

理科 成果が見られた内容

- ろ過の適切な操作方法を身に付けていること。【関連問題 4(1)】
- より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できること。【関連問題 4(2)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと。【関連問題 A5】
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。【関連問題 B2二】

算数 課題が見られた内容

- 単位当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解していること。【関連問題 A4(2)】
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができること。【関連問題 B3(2)】

理科 課題が見られた内容

- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。【関連問題 1(4)】
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できること。【関連問題 3(1)】

1 (2) 中学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。【関連問題 A8三ウ・エ】
- 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと。【関連問題 B3三】

数学 成果が見られた内容

- 指数を含む正の数と負の数の計算ができること。【関連問題 A1(3)】
- 四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の $1/3$ であることを理解していること。【関連問題 A5(4)】

理科 成果が見られた内容

- 神経系の働きについての知識を身に付けていること。【関連問題 5(1)】
- アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができること。【関連問題 8(3)】

課題

国語 課題が見られた内容

- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。【関連問題 A8六2】
- 文章の構成や展開について自分の考えをもつこと。【関連問題 B1二】

数学 課題が見られた内容

- 与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができること。【関連問題 A9(2)】
- 証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができること。【関連問題 B4(1)】

理科 課題が見られた内容

- 反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できること。【関連問題 5(2)】
- 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けていること。【関連問題 7(1)】

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点から	1.5年生(中学2年生)までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.3	76.3	76.7	73.0	70.5	73.8
	2.5年生(中学2年生)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	56.8	59.0	61.0	48.8	46.2	53.8
	3.学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.7	77.3	77.7	72.1	75.7	76.3
規範意識・自己有用感等	4.自分には、よいところがあると思いますか	87.1	84.1	84.0	79.1	78.1	78.8
	5.先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.9	85.3	85.3	83.2	80.6	82.2
	6.将来の夢や目標を持っていますか	85.8	85.0	85.1	70.5	72.4	72.4
	7.学校のきまりを守っていますか	92.7	90.3	89.5	94.5	94.8	95.1
	8.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.1	96.8	96.8	95.9	96.4	95.5
	9.人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.9	95.1	95.2	95.3	96.1	94.9

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
学習習慣等	10.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	63.4	64.6	67.6	61.0	47.7	52.1
	11.家で、学校の宿題をしていますか	97.2	96.4	97.1	91.4	90.7	91.6
	12.家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	53.1	61.9	62.6	63.0	50.4	55.2
	13.家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	67.6	73.2	69.9	77.1	69.7	71.3
生活習慣等	14.毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.3	76.5	77.0	76.6	73.6	74.2
	15.家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	76.1	78.6	80.5	76.9	76.8	76.0
地域や社会	16.今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.5	66.0	62.7	53.8	40.7	45.6
	17.地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.4	50.0	49.9	41.0	36.1	38.7
	18.地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	38.8	40.1	41.6	27.9	23.0	25.5

2 (2) 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	1. 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができますか(新規)	91.3	88.1	83.6	80.0	75.4	80.8
	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	91.3	97.4	93.0	100	95.8	92.6
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	95.7	87.8	84.4	80.0	68.6	73.7
カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況	4. 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	95.7	97.1	94.9	100	94.6	93.1
	5. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.4	94.4	100	96.3	91.8
	6. 学校として業務改善に取り組んでいますか(新規)	100	98.5	97.4	100	97.6	96.8
教職員の資質能力の向上	7. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	95.7	99.4	96.7	100	93.3	90.9
	8. 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	100	97.6	95.1	90.0	87.3	85.4
個別に感じた指導	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	39.1	42.3	35.2	70.0	42.2	28.6

2 (2) 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
自己規範意識の有無	10. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100	100	99.0	100	98.8	97.9
家庭学習	11. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	100	91.5	91.6	90.0	90.4	87.1
地域や学校に関する取組	12. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定を行いましたか	91.3	87.8	86.2	90.0	83.7	79.8
家庭や地域との連携	13. 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか(新規)	91.3	90.3	90.6	80.0	84.3	85.2
	14. 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	100	99.5	97.7	100	94.6	90.4
	15. 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	95.7	80.2	72.8	100	69.9	60.7
	16. 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	100	97.7	95.4	90.0	90.3	88.6
全国学力・学習状況調査等の活用	17. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.9	97.6	100	95.8	96.1
	18. 平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	100	91.9	92.3	100	82.5	88.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

【児童・生徒質問紙調査結果から】

- 「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」及び「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」では、昨年度と同様に、小・中学校ともに全国平均を下回り課題が見られた。今後も、学力向上につながるよう目的意識を持った言語活動の充実について、「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得」を基に、小・中学校ともにさらに改善を図る必要がある。
- 「学習習慣等」において、「家で、学校の宿題をしていますか」では、小・中学校ともに昨年度と同様に県平均を上回っている。「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」では、中学校は県や全国の平均を上回っているが、小学校は県や全国の平均を下回っている。今後、特に小学校において、授業と関連させた教科の宿題としての家庭学習の与え方や、その「見届け」について、さらに推進する必要がある。

【学校質問紙調査結果から】

- 「全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか」では、昨年と同様に全ての小・中学校において取り組まれている。今後は、各学校の検証改善サイクルを基に、学校総体として取り組まれるように推進していく必要がある。
- 「家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか」では、昨年度と同様に県や全国平均を上回っている。今後は、児童・生徒の学力向上につながるように、教科の宿題としての実施と「見届け」について推進していく必要がある。

3 今後の取組の重点事項

重点事項① 「課題改善に向けた方策の共通理解・共通実践」

【検証改善サイクルの「見える化」】

- 全国学力・学習状況調査等の結果等を踏まえ、各学校及び教科等の課題を明確にし、その課題改善に向けた検証改善サイクルの取組を「いつ、どこで、誰が、どのようにして実践するのか」を具体的に「見える化」し、学校総体として全教科で日々の授業改善に取り組むよう指導する。

重点事項② 「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得の充実・深化」

【「見届け」の日常化】

- 宇城教育事務所が示す「『分かる・楽しい』授業づくり5つの心得」を視点に、小中連携した授業改善をさらに推進する。その「見届け」においては、3つの視点（子ども・教師・管理職）から、児童・生徒の自己肯定感や成就感につながる取組が行われるように指導する。特に、本年度は【心得3】「めあてに沿って、『じっくり考え』『はっきり表現させる』場の設定」について取組を推進する。

重点事項③ 「家庭学習の一層の充実」

【教科の指導としての宿題の充実と実施の「見届け」】

- 宇城地区学力向上対策会議等における取組を通して、小中連携を基盤に、教科の指導としての課題設定と実施の見届けが行われるよう指導する。